

灰色のルートは、すべて同じ色であれば、どの色の乗り物カードでも使用できます。

まだタクシーコマが置かれていないルートであれば、どのルートでもつなぐことができます。自分がすでにつないでいるルートに隣接させる必要はありません。プレイヤーが**1回の手番中につなぐことができるルートは1つだけです。**

ルートに配置する自分の手持ちのタクシーコマが足りなくなった場合、そのルートはつなぐことができません。

長さ3マスの青のルートは、以下の乗り物カード3枚の組合せの、どれでもつなぐことが可能です。



行き先チケットカードを引く

行き先チケットカードには、2つの場所と点数が記載されています。ゲーム終了時に自分が完成させた行き先チケットカードに記載されている点数を獲得します。1枚の行き先チケットカードに記載されている2つの場所を、自分のタクシーコマで一続きにつないでいけば、その行き先チケットは完成です。自分が保持する行き先チケットを完成できなかった場合、記載されている点数が得点よりマイナスされます。1人のプレイヤーが保持できる行き先チケットカードの枚数に上限はありません。

このアクションにより、保持する行き先チケットカードの枚数を増やすことができます。これを実行するときは、行き先チケットカードの山札の上から2枚引きます。チケットを引いたプレイヤーは、表面を確認した後、引いた2枚のうち1枚は選んで自分の手札に保持しなければなりません。2枚とも保持することも可能です。保持しないカードは山札の下に戻します。手札に保持することを選択した行き先チケットカードは捨て札にできず、ゲーム終了時まで保持しなければなりません。

行き先チケットカードの山札の残り枚数が1枚だけになった場合でも、このアクションは実行可能ですが、引いた行き先チケットは保持しなければなりません。

保持する行き先チケットカードの内容と、完成したかどうかについては、ゲーム終了時まで他のプレイヤーには明かさないのでください。

ゲームの終了と最終得点計算

1人のプレイヤーの手元のタクシーコマの残りが2個以下になったとき、各プレイヤー（2個以下になったプレイヤーも含む）が1回ずつ最後の手番を実行し、ゲーム終了となります。プレイヤーはスコアシートを使って最終得点計算をします。

➡ 最初に各プレイヤーは、ゲーム中につないだ各ルートの点、ゲームボードに表示されているルートのマス別点数表/Route Scoring Tableを参照して獲得します。

➡ 次に各プレイヤーは、保持している行き先チケットカードを公開し、完成したチケットカードに記載されている点数を追加、完成できなかったチケットカードに記載されている点数をマイナスします。

➡ 最後に各プレイヤーは、自分がつないだルートにつながつている観光名所1つにつき1点を獲得します。



得点合計が最も多いプレイヤーが勝者です。

同点の場合は、完成させた行き先チケットの枚数が多い方を上位とします。それも同数の場合は勝利を分かち合ってください。



ニューヨークの旅は エンジョイできたかな？

今度はニューヨークから中西部のグレート・プレーンズ、ロッキー山脈を抜けて温暖なカリフォルニアの海岸へと続くアメリカ横断の旅に挑戦してみよう。

チケット・トゥ・ライド：アメリカは、20世紀初めの北米の鉄道網が描かれた大判のゲームボードを使った、2～5人用のゲームです。



WWW.TICKET2RIDEGAME.COM

Credits

Game design by Alan R. Moon

Illustrations by Julien Delval

Graphic Design by Cyrille Daujean

A special thanks from Alan and DoW to all those who helped play test the game: Janet Moon, Bobby West, Martha Garcia Murillo & Ian MacInnes, Michelle & Scott Alden, Adrien Martinot & Lydie Tudal, Alicia Zaret & Jonathan Yost, Casey Johnson, Emilee Lawson Hatch & Ryan Hatch.

© 2004-2018 Days of Wonder, Inc. Days of Wonder, the Days of Wonder logo, and Ticket to Ride are all trademarks or registered trademarks of Days of Wonder, Inc. All Rights Reserved.

Alan R. Moon

INTRODUCING FAMOUS ORIGINAL

New York City

WELCOME TO THE BIG APPLE!



セントラルパークからエンパイアステートビルへ、
そしてタイムズスクエアからブルックリンへの
旅をお楽しみ下さい!



- ニューヨークの交通網マップ
ボード 1枚
- プラスチック製のタクシー
駒 60個 (各色15個)
- 予備のプラスチック製
タクシーコマ
- 乗り物カード44枚 (多
色のタクシーカード8枚
と、青、緑、黒、ピンク、



- 赤、オレンジのカード
各6枚)
- 行き先チケットカード 18枚
- このルールシート
- スコアシート 1冊
- 鉛筆 1本



IN THE BOX

ゲームの準備

- ☞ テーブル中央にゲームボードを配置します。各プレイヤーは自分の色を選び、その色のプラスチック製タクシーコマを受け取ります。
- ☞ 乗り物カードをシャッフルし、各プレイヤーに開始時の手札として2枚ずつ配ります①。残りの乗り物カードは裏向きの山札にしてゲームボードの脇に置き、上から5枚のカードを表向きにして山札の横に並べます②。その際にタクシーカードが3枚以上あった場合、その場で5枚すべてを捨て札にして、新たに5枚を引いて表向きに並べてください。
- ☞ 行き先チケットカードをシャッフルし、各プレイヤーへ2枚ずつ配ります③。各プレイヤーは配られた行き先チケットを見て、保持するかどうかを判断します。2枚とも保持することもできますが、必ず1枚は手元に保持しなければなりません。保持しない行き先チケットは、行き先チケットの山札の一番下に戻します。その後行き先チケットの山札は、ゲームボードの横に配置します④。
- ☞ これで準備は完了です。

ゲームの目的

ゲームの終了時、得点の最も多いプレイヤーが勝者です。以下の手段で得点できます。

- ➡ ゲームボード上で隣り合っている2つの場所をタクシーコマでつなぐ。
- ➡ 自分の保持する行き先チケットに記載されている2つの場所間を、自分のタクシーコマで一続きにつなぐ。
- ➡ 観光名所につなげる。

自分が保持している行き先チケットは、ゲーム終了時に完成できなかった場合、得点がマイナスされます。

ゲームの手番

最も若いプレイヤーが先手となり、その後時計回りの順に手番を実行し、これをゲーム終了時まで続けます。プレイヤーは自分の手番に3つのアクション(乗り物カードを引く、ルートをつなぐ、行き先チケットカードを引く)の中から1つだけを実行します。

乗り物カードを引く

乗り物カードは、ゲームボードに表示されている6色のルートの色(青、緑、黒、ピンク、赤、オレンジ)と、すべての色として使用できる(ルートをつなぐ際にすべての乗り物カードの代わりとなる)多色のタクシーカードがあります。プレイヤーが手札として持てる乗り物カードの枚数に上限はありません。



このアクションでは、プレイヤーは乗り物カードを2枚引きます。乗り物カードの山札の一番上のカード(表面がわからないカード)を引くことも、表向きに並んでいる5枚のカードから引きすることもできます。表向きに並んでいるカードから引いた場合、即座に乗り物カードの山札の一番上を表向きにして補充しなければなりません。

例外として、表向きのカードの中からタクシーカードを引く場合、この手番はその1枚しか引くことができません。これは、1枚目を引くときも2枚目を引くときも同様に適用されます。

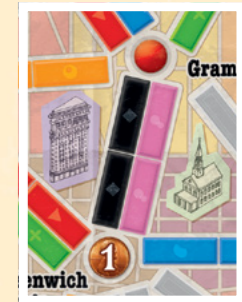
表向きの乗り物カード5枚のうち3枚以上がタクシーカードになった時点で、5枚すべてを捨て札にし、新たに5枚を引いて表向きに並べてください。

乗り物カードの山札が無くなったときは、捨て札をシャッフルして新たな乗り物カードの山札を作り、ゲームを進めます。

ルートをつなぐ

ゲームボード上の隣接する場所は、ルートでつながっています。各ルートは1つ以上の同じ色のマスのセットになります。

いくつかのルートは、二重ルート(同じ場所間を同じ長さでつないでいる)でつながっています。1人のプレイヤーが二重ルートの両方をつなぐことはできません。



注意: 2人でゲームをプレイする場合、1人のプレイヤーが二重ルートのどちらかをつないだ場合、もう1人のプレイヤーは残りのルートをつなぐことができません。

ルートをつなぐためには、手札からそのルートの色(乗り物カード)を、そのルートのマス数と同じ枚数捨て札にし、つなぐルートのマスそれぞれに自分のタクシーコマを1個ずつ配置しなければなりません。例えば、青のルートは青の乗り物カードを捨て札にしてつなぎます。灰色のルートは、すべて同じ色であれば、どの色の乗り物カードでも使用できます。